

事務事業名	地域振興事務事業 丸岡			事業コード	02010150101
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	南出 俊生
事業対象	市民、観光客を対象としています。				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	地域自治区の設置に関する協議書、坂井市寄付による市民参画条例			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

地域自治区の区域に係ることや、丸岡支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的とします。

●地域振興事務事業
地域自治区の区域内に係ること、丸岡支所が掌握する事務について協働のまちづくりを推進するため実施します。

事業の目的・事業の概要等

報償費	地域協議会視察謝礼	3千円
旅費	地域協議会委員費用弁償	58千円
需用費	地域協議会事務費・会議経費	80千円
	手作り籠兜修繕料	97千円
使用料及び賃借料	地域協議会バス借上料	179千円
負担金、補助及び交付金		
	丸岡まつり振興会事業補助金	600千円
	丸岡古城まつり事業補助金	6,000千円
	丸岡自治区スポーツレクリエーション祭補助金	1,200千円
	協働のまちづくり事業交付金	14,800千円

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	529千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	176千円	95千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	8,039千円	8,619千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	8,215千円	9,243千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.58人	11,232千円	1.65人	11,596千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.58人	1,190千円	1.00人	2,525千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	2.16人	12,422千円	2.65人	14,121千円	人	千円	人	千円
	総事業費	20,637千円	23,364千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	20,637千円	23,364千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計	20,637千円	23,364千円	千円	千円	千円	千円	千円		

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	古城まつり参加および人数	人	目標値	2000	達成率	1500	達成率	1500	達成率
			実績値	2800	140	2400	160	2100	140
成果	地域協議会市長への提言書提出回数	回	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	0	0
活動	古城まつり協賛金の全体事業費に対する割合	%	目標値	40	達成率	40	達成率	40	達成率
			実績値	45	112.5	45	112.5	47	117.5
活動	地域協議会会議回数	回	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値	5	41.67	6	50	6	50
活動	丸岡自治区スポーツレクリエーションの参加人数	人	目標値	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率
			実績値	1796	179.6	1753	175.3	1205	120.5
活動			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

すぐにできる改善提案	古城まつりについては、実行委員会事務局の実行委員への移管をさらに進め、市民との協働によりまつりを盛り上げていきます。公民館がコミュニティセンターとなり、センターを中心にまちづくり協議会や区会等の連携をより深め、活動を支援していきます。スポーツレクリエーション祭については、競技種目をより充実し、地域の健康増進とコミュニティ活動の活発化を図ります。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	平成26年に発足した「丸岡古城もりあげ隊」をより組織強化し、古城まつりの充実と活性化を図ることを目的として、市民主導のまつりを進めています。地域づくりにおいては、まち協と区長会、コミュニティセンター長の合同会議等を開催し、情報交換と連携を図っていきます。スポレク祭は、集客力のある競技種目を検討し、特に小学校年代の参加しやすい競技を考えていきます。
中長期的に取り組むべき改善提案	平成30年の第50回古城まつりに向けて、最古の天守閣「丸岡城」にふさわしく、県内外から多くの集客を図れるイベントの形態を確立していく必要があると考えています。まちづくり協議会については、若年層の後継者育成に努め、しっかりとした基盤づくりに努めます。スポレク祭は、生涯スポーツの推進を目指し、地域住民の健康増進を図っていきます。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	古城まつりは、有志（丸岡古城もりあげ隊）と市が連携して、永く続く祭りとして実行委員会を充実させていきます。また、丸岡城天守国宝化に向けた盛り上がりを通して、古城まつりだけでなく、まち協・区長会とともに地域づくり・まちづくりの気運の高まりを醸成していきます。スポレク祭では、競技種目の充実とともに、競技へのチャレンジにより、競技人口の底辺を広げ、スポーツ人口の増加を図っていきます。

【前年度改善案に対する取組状況】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【担当者評価】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	地域協議会事業は27年度をもって終了しますが、引き続き実施する事業の古城まつりやスポーツレクリエーション祭等については、事業の充実によって集客が図れることから、費用対効果を念頭に置き、企画していく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。「古城まつり」につきましては、引き続き「古城まつりもりあげ隊」への企画・運営の移行について隊員らと協議しながら事業展開を進めていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	各イベントについては事業主体にゆだねるものとして、職員の関わりを少なくしていく方向で調整していきます。			
すぐにできる改善提案	古城まつりもりあげ隊による古城まつりの企画・運営は2年目となり、行政主体から、自主的に会議を開くなど、事務移行に向けた動きが伺えるが、まだ書類作成などの事務の面で手助けが必要であることから、若干時間を要するものと思えます。また、スポーツレクリエーションについても、今まで以上の集客力を要し、魅力あるイベント内容にすべきであると考えます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	両事業共に補助金と事業費が大きいことから、一層魅力ある有効な事業にしていく必要があります。再度内容を十分に精査し、市民の満足していただけるものにしていく必要があります。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業 丸岡			事業コード	06010305111
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（川上集落・新雨堂（八ヶ郷地区の一部）地区農業者）を対象としています。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	中山間地域等直接支払制度			
根拠例規	有	中山間地域等直接支払交付金実施要領、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

農業生産条件が不利地域である中山間地域等において、担い手の育成等による自立的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備及び耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能の確保を図ります。

「農業振興地域の整備に関する法律」で定める「農用地区域」にあり、1ha以上のまとまりがあり、急傾斜農用地（勾配 田1/20(5度)以上)の農用地が対象となります。集落協定又は個別協定を締結し、農業生産活動等を5年間以上継続して行う農業者等へ交付金を支出します。

- ・第4期対策(平成27年度～平成31年度)
- ・第3期対策(平成22年度～平成26年度)
- ・第2期対策(平成17年度～平成21年度)
- ・第1期対策(平成12年度～平成16年度)

【補助率等】 21,000円/10a（負担割合 国 1/3・県 1/3・市 1/3）
【期間】 平成22年度～平成26年度
【対象】 2地区（丸岡）
・川上地区 14,012㎡×21,000円/10a=294,252円
・新雨堂地区(八ヶ郷地区の一部) 19,854㎡×21,000円/10a=416,934円
計 33,866㎡ 711,186円

○負担金、補助金及び交付金（補助金） 712千円

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	711千円	725千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	711千円	725千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.21人	1,493千円	0.09人	640千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.21人	1,493千円	0.09人	640千円	人	千円	人	千円
総事業費		2,204千円	1,365千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	474千円	483千円	千円	千円	千円	千円		
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	1,730千円	882千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	2,204千円	1,365千円	千円	千円	千円	千円				

成果	指標名	単位	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	
協定数		件	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100	2	100	2	100
対象面積		㎡	目標値	33866	達成率	34527	達成率	34527	達成率	34527	達成率
			実績値	33866	100	34527	100	34527	100	34527	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	現状を維持していくこととします。
目標年度 平成31年度	
取組状況	継続して取り組みます。
中長期的に取り組むべき改善提案	農業従事者の高齢化に伴う農業人数が減少してくると想定されるため、後継者育成計画が必要と考えます。
目標年度 平成31年度	
取組状況	後継者育成について検討します。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	中山間地の水田の適正な維持管理を図り、耕作放棄地を作らせないための有効な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	高齢化の進む中で、この事業によって支援をする有効な事業といえます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	現状を維持していくことこそ有効な手段といえます。			
目標年度 平成31年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	農業従事者の高齢化に伴う減少が危惧されることから、後継者の育成が必要であると考えます。			
目標年度 平成31年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
協定数	件	目標値	2	達成率	2	達成率
		実績値	2	100	2	100
対象面積	㎡	目標値	33866	達成率	34527	達成率
		実績値	33866	100	34527	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	中山間地域土地改良施設等保全基金事業 丸岡			事業コード	06010305146
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象					
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	近年自然的、社会的、経済的に不利な条件を有している棚田地域において、担い手不足等による耕作放棄地が増えてきていることから、棚田保全が重要な課題となっている。そこで、棚田地域に限定した支援を行うことにより保全活動の育成、定着を図り保全体制を確立する。				
	<p>中山間地域土地改良施設等保全基金事業費補助金</p> <p>「棚田地域保全基金」補助金 事業主体 坂井市 新雨堂区（丸岡八ヶ郷地区） 事業内容 保全活動支援 負担区分 国1/3・県2/3</p> <p>集落住民が棚田地域の保全を目的として行う共同作業に係る資機材購入に対して、300千円を上限として支援する</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	単年度事業
目標年度 平成27 年度	
取組状況	事業完了
中長期的に取り組むべき改善提案	単年度事業
目標年度 平成27 年度	
取組状況	事業完了

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費					
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	300 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	300 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
	事業費	総事業費	300 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	300 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	300 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	中山間地域で耕作不利な棚田地域での耕作放棄地を発生させないために、協同作業に係る防除機を購入するための事業です。平成27年度完了の事業です。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	防除機3台を購入し、協同、且つ一斉に防除作業を行い、集落の一体性を図るためには有効です。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国と県の補助金により、購入されました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案				
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	協同作業を通じ、集落が一体となって、優良なコメの栽培と農地保全を行っていただけることが、大きく期待できます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
補助件数		件	目標値	1	達成率						
			実績値	1	100						
			目標値		達成率						
			実績値								
			目標値		達成率						
			実績値								
			目標値		達成率						
			実績値								
			目標値		達成率						
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	特産そば振興事業 丸岡			事業コード	06010345101		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子		
事業対象	市民（農業者、消費者）を対象としています。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	補助金事業（団体）	
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	地域特産物に位置付けされている「そば」の高品質化、高付加価値化の推進により、消費拡大、知名度の向上を図るとともに、イベント等を通じてそば産地としての競争力の強化を図ります。						
	坂井市丸岡町で獲れたそば粉を使用し、そば打ち体験やおろしそばを活用したイベントを通じて、県内外に広くアピールし消費拡大を図ります。						
【事業実施団体】	丸岡そば振興協議会 （構成…そば愛好会、JA青壮年部、消費者代表、県、市、JAなど）						
【主な事業】	<ul style="list-style-type: none"> 「坂井市丸岡町素人そば打ち段位認定会」の開催 8月1日 「全日本素人そば打ち名人大会坂井市丸岡地区予選会」の開催 8月1日 「そばの里 丸岡 新そばまつり」の開催 11月21日 						
	<ul style="list-style-type: none"> 上記事業実施に伴う打ち合わせ会議の開催 5回 						
○報償費	35千円						
○旅費	42千円						
○需用費	69千円						
○使用料及び賃借料	0円						
○負担金、補助及び交付金	456千円						

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	毎年11月に実施する「新そばまつり」は、年々来場者が増加し、丸岡産「早刈りそば」の知名度も上がってきています。今後、更なるPRや出張販売も検討するように指導したいと考えます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続してしています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	JA・県・生産者代表・愛好会などで組織し、丸岡総合支所地域振興課が事務局を担当。ソバは市内全域で栽培されていることから、丸岡のみに特化せず、JAを事務局として全的に広めてはとも考えます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続して検討しています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	69千円	65千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	532千円	490千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	601千円	555千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.55人	3,910千円	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.55人	3,910千円	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円
	総事業費		4,511千円	4,038千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		4,511千円	4,038千円	千円	千円					
財源合計	4,511千円	4,038千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	坂井市はソバの生産面積は県内最大ですが、地元で収穫されたそばを提供する場所や機会が少ないため、そばの収穫期に合わせて「新そばまつり」を開催し、市内の人はもちろん県内外の人に良質なソバ産地あることをPRする場であることから継続して取り組んでいく必要があります。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	会及び会員は旧町時代からの引き継ぎによる丸岡町に限った事業内容と役員であり、本庁扱いとなれば、会に加入するJAあるいは団体に事務局を移行すべきと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市関係の人員の縮小を検討すべきと考えます。			
すぐにできる改善提案	坂井市に枠を広げることもできますが、過去から続く事業補助であれば事務局の移行が、より効果的であると考えます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	第16回そばまつりを27年度に実施しており、市民ニーズもあることから、内容変更や断ち切るのではなく現団体で継続していくことが有効だと考えます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	回	目標値	5	5	5	4
		実績値	5	5	4	5
活動	杯	目標値	1500	1500	1500	1500
		実績値	1463	1450	1199	887
活動	杯	目標値	300	300	300	300
		実績値	267	266	277	172
活動	人	目標値	15	15	20	20
		実績値	18	12	13	18
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

事務事業名	林道維持管理事業 丸岡		事業コード	06020205101	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（林業従事者、森林所有者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱 森林組合労働退職金共済事業補助金				
関連計画・マニュアル	無 坂井市森林整備計画				
事業の概要	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行います。				
	<p>県単林道事業（補助事業）に該当しない軽微な修繕や改良事業により、林道の適正な維持管理を行い、林業従事者などの利用者の交通の利便性の向上と安全対策を図っています。</p> <p>【林道数】 29路線 【総延長】 54.921m(平成27年4月1日現在) 【業務内容】 林道維持管理 ・ 随時、巡回の実施 ・ 特に大雨や台風、雪解け後の巡回による維持管理 ・ 林道路面の補修工事、落石防止のための法面工事など</p> <p>○委託料 56千円 ・ 工事積算システム保守点検委託料 ○使用料及び賃借料 108千円 ・ 電算システムリース料 ○工事請負費 2,595千円 ・ 土砂崩れ、路面洗掘修繕 など</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	市は元より、山地災害モニターのパトロールで確認された被害箇所については、即座に改修していきます。	
目標年度 平成29 年度		
取組状況	維持管理の継続中です。	
中長期的に取り組むべき改善提案	市の管理する29路線、約55キロの林道を常に巡回し、林家や森林組合の作業員の通行に支障がないよう、改修を行います。	
目標年度 平成29 年度		
取組状況	維持管理の継続中です。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	55	55						
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	2,702	3,431	千円	千円				
	事業費合計	2,757	3,486	千円	千円					
	人件費	正職員	0.42 人	2,986 千円	0.42 人	2,986 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.42 人	2,986 千円	0.42 人	2,986 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,743	6,472	千円	千円					
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円				
国県支出金		千円	千円	千円	千円					
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円					
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源	5,743	6,472	千円	千円						
財源合計	5,743	6,472	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市の監理する29路線、約55キロある林道は、常に林家や森林作業員が通行するものであり、適正な維持管理は継続して必要な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市の管理する林道については定期的なパトロールの実施などを行い損傷等が発見されれば、適正に補修を行っていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	最近多くなったゲリラ豪雨などにより、大型の崩落や洗掘によって林道としての機能を奪われ、間伐材等の運搬作業などに障害が発生することから林道の適正な維持管理を図っていく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	山林災害モニターや担当職員の定期的なパトロールにより、発見次第すぐに対応していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市の管理する林道であることから常に監視し、不適切な状況が発見次第に修繕を長期的に行っていく必要があるといえます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	千円	目標値	3200	達成率 3,500	達成率 3,500	達成率 1500		
		実績値	2595	81.09	3324	94.97	2,442	69.77
活動	千円	目標値	3200	達成率 3,500	達成率 3,500	達成率 1500		
		実績値	2595	81.09	3324	94.97	2,442	69.77
活動	件	目標値	10	達成率 10	達成率 10	達成率 10		
		実績値	10	100	12	120	10	100
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	県単林道事業 丸岡		事業コード	06020205106	
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（林業従事者・林道利用者）を対象とします。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 県農林水産部県産材活用課森づくり課所管補助金等交付要綱（林道事業補助金）				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行います。				
	<p>◆林道岩ヶ谷線改良工事 2,505千円 林道の路盤高の向上及び林道直下を流れる小河川の水路の条件整備のため既設排水構造物の移設、排水管の新設、ふとんかご工による護岸のための工事を実施しました。 所在 坂井市丸岡町下久米田地係 延長 L=14.4m 工種 HPφ800敷設、ふとんかご、路盤工</p> <p>◆林道岩屋線改良工事 3,496千円 荒廃した砂利道をコンクリート舗装を行い林道の安全性及び維持管理の向上を図りました。 所在 坂井市丸岡町上竹田地係 延長 L=120.0m 幅員 W=4.0m</p>				
	○工事請負費	6,001千円			

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	6,000千円	12,900千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	6,000千円	12,900千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.34人	2,417千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.34人	2,417千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
総事業費		8,417千円	15,033千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	3,000千円	6,450千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	1,700千円	6,400千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源		3,717千円	2,183千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		8,417千円	15,033千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名		単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	林道改修件数	件	目標値	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100
活動	林道改修	件	目標値	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

すぐにできる改善提案	異常気象の影響によって集中豪雨が増加していることから、洗掘等の被害に対しては早急に対応していきます。		
目標年度 平成29年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	山地災害モニターからの情報、常に林道パトロールを行いながら被害箇所の発見に努め、適正に維持していきます。		
目標年度 平成29年度			
取組状況	継続中です。		

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市の管理する林道で、急傾斜・通行困難な部分においては、簡易な修繕ではなく、コンクリート舗装により、通行しやすくする必要があります。林道の総延長55キロの中で、危険箇所については県の補助を受け、強固なコンクリートによって林道を整備していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	林道の管理者は市であることから、適正な維持管理に今後共努めていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県の補助金・一般財源を投じて適正時維持管理を行っていく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	山菜取りなどで通行する一般の人からの通報も受けられるような方法も検討すべきと思われます。			
目標年度 平成29年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	林業に従事する人が、快適に利用できる林道の整備は必要不可欠。継続して実施していきます。			
目標年度 平成29年度				

事業の成果	成果	林道改修件数	件	目標値	2	達成率	2	達成率	
				実績値	2	100	2	100	3
	活動	林道改修	件	目標値	2	達成率	2	達成率	
				実績値	2	100	2	100	3
					目標値		達成率		達成率
					実績値				
					目標値		達成率		達成率
					実績値				
					目標値		達成率		達成率
					実績値				

事務事業名	森林整備事業 丸岡			事業コード	06020205111		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子		
事業対象	市民（山林所有者）が対象者です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	林業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	森林法第10条の5					
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無	坂井市森林整備計画					
事業の概要	森林の持つ多様な機能を維持するために、森林の整備を行ないます。森林を良好な状態で維持することで、上流地域から下流地域の市民の居住環境の維持向上が図られています。						
	【森林整備の概要】 森林の機能を林班毎に区分し、区域に応じた森林整備を行います。 ① 伐採・造林・保育その他森林の整備に関する基本的な事項 ② 立木竹の伐採に関する事項 ③ 造林に関する事項 ④ 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐・保育の標準的な方法及び基準 ⑤ 要間伐森林の所在並びに実施すべき間伐及び時期に関する事項 ⑥ 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項						
	【事業実施主体】 坂井森林組合						
	【平成27年度事業実績】 ① 造林 7.49ha ② 雪起し 7.91ha ③ 下刈 10.87ha ④ 除伐 9.44ha ⑤ 枝打ち 23.35ha ⑥ 間伐 87.44ha ⑦ 作業路開設 11,391m						
事業の目的・事業の概要等	【補助補率】 ・市補助率は、事業費の3～6%以内 ・別途国30%、県20%が実施主体へ直接交付						
	○補助金	5,600千円					

すぐにできる改善提案	坂井森林組合と森林所有者である林家との契約の上、順次エリアを選定しながら、整備していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市森林整備計画に基づき、適正な維持管理を実施していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	6,000 千円	6,000 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	6,000 千円	6,000 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.14 人	995 千円	0.13 人	924 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.14 人	995 千円	0.13 人	924 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	6,995 千円	6,924 千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		6,995 千円	6,924 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	6,995 千円	6,924 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市の面積の3分の1が山林であり、林道を含め適正な森林を維持するためにも継続していくことが必要であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	専門的に事業を請け負う坂井森林組合に、国・県・市の負担金や補助金によって森林の適正な維持管理を委託するものです。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のとおり、国・県・市の補助金をあて、必要な事業は適正に実施していくべきだと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	坂井森林組合と林家の契約の元でエリアを設定して事業を実施。今後とも手を入れていない荒れた山林を適正な森林として維持するためにも、エリアの拡大が必要であることから、市としても応援していきたい。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	山林は水源涵養などの効果があり、間伐を行うなどしながら維持管理することによって効果を発揮します。このようなことから、維持管理については将来的にも実施すべきものと考えます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
補助件数		件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業 丸岡			事業コード	06020205116
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（森林所有者）を対象とします。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 県農林水産部県産材活用課森づくり課所管補助金等交付要綱（森林整備地域活動支援交付金）、坂井市産業経済部農林水産部所管補助金等交付要綱 坂井市森林整備地域活動支援事業費補助金交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図る観点から、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林の施業が適時適切に行われるよう、その実施に不可欠な地域における活動を確保するために支援措置として交付金を交付します。				
	森林活動支援交付金制度は、森林経営計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、林業者等による森林施業の集約化に必要な「施業集約化の促進」及び「森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備」などを支援する事業です。				
【事業の目的・事業の概要等】	【事業実施者】 坂井森林組合				
	【対象事業】 ・施業集約化の促進 100.00ha ・森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備 100.00ha				
	【補助率】 国費1/2 県費1/4 市費1/4				
	○補助金 5,600千円				

すぐにできる改善提案	森林組合の積極的な林業者への説明の上、事業を積極的に進めていきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	森林経営計画の作成、施業の集約化の推進を図りながら、継続して実施していく必要があります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	5,600 千円	5,600 千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	5,600 千円	5,600 千円	千円	千円	千円	千円	
			正職員	0.13 人 924 千円	0.12 人 853 千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00 人 千円	0.00 人 千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.13 人 924 千円	0.12 人 853 千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	6,524 千円	6,453 千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	4,200 千円	4,200 千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			2,324 千円	2,253 千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	6,524 千円	6,453 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の通り実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持し、実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	国・県・市の補助金を受け、適正に事業を進めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	特にありません。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市森林整備計画に基づき適正な森林の維持管理と、林家立ち合いによる境界確認を継続して実施していきます。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
協定数		件		1	達成率	1	達成率	2	達成率	2	達成率
				実績値	1	100	1	100	2	100	2
活動		件		1	達成率	1	達成率	2	達成率	2	達成率
				実績値	1	100	1	100	2	100	2
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	まちかど公園管理運営事業 丸岡			事業コード	07010510141
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（観光客、施設利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	有料駐車場及び付属設備の維持管理
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場は、丸岡町内の商店街や日本最古の丸岡城に近い位置に設置されているため、商店街を利用する市民や観光客が快適で安全に利用できるよう駐車場の適正な管理運営を行います。				
	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場の両駐車場は、パーキングメーターによる有料駐車場で、機器の保守管理と付帯施設の維持管理業務を指定管理により委託しています。				
事業の目的・事業の概要等	【指定管理先】 財団法人 坂井市公共施設等管理公社				
	【指定期間】 平成25年4月1日～平成28年3月31日 3年間				
	【施設概要】 ①丸岡まちかど公園駐車場 所在地 坂井市丸岡町富田町1丁目1 766.18㎡ 駐車台数 12台 付属施設 公衆トイレ ②お天守前駐車場 所在地 坂井市丸岡町霞町1丁目31 497.36㎡ 駐車台数 12台 付属施設 お天守前公園				
	○役務費 6千円 ・まちかど公園公衆トイレ火災保険料 ○委託料 940千円 ・指定管理委託料				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費					
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	940	千円	937	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	5	千円	5	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	945	千円	942	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.23	人	1,635	千円	0.13	人	924	千円	
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.23	人	1,635	千円	0.13	人	924	千円	
	事業費	総事業費	2,580	千円	1,866	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		2,580	千円	1,866	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	2,580	千円	1,866	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度				
成果	駐車場利用台数	目標値	5000	達成率	5000	達成率	4,500	達成率		
		実績値	7699	153.98	6037	120.74	5408	120.18	4829	107.31
活動	駐車場利用台数	目標値	5000	達成率	5000	達成率	4500	達成率	4,500	達成率
		実績値	7699	153.98	6037	120.74	5408	120.18	4829	107.31
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐに行える改善提案	料金精算機などに老朽化が見受けられますが、適正な保守管理を行いながら維持管理を行っていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	適正な保守管理により維持管理を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化していることについて指定管理者と協議し、更新等について検討していく必要があります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	引き続き更新等について検討していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	丸岡城周辺散策には公衆トイレと駐車場が必要です。観光客にやさしいまちづくりの一環として、指定管理者に委託して適正に管理を行います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	城周辺の施設を管理する「坂井市公共施設等管理公社」に委託し、継続して実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
すぐに行える改善提案	施設の老朽化が若干でございましたが、修繕も行いながら適正な管理に努めて行きます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	長期的に考えた場合、料金精算機を含めたパーキング施設の修繕・更新等についても協議し、観光客に喜ばれる施設として維持管理を図っていく必要があります。			
目標年度 平成29 年度				